

## 主催事業 郷土資料館ウィンタースクール

### 冬を楽しむ「昔の遊びと野鳥観察会」のお知らせ！

昔ながらの凧づくりや、冬期間に観察する事ができるオジロワシ・オオワシなどの野生動物を観察したいと思います。冬休み中の体験学習の一貫として実施しますので、ぜひ、ご参加ください。

#### ●第1回目

と き 平成23年1月12日（水）午後1時30分～3時

ところ 別海町郷土資料館

内 容 昔の遊び「凧づくりに挑戦しよう」

#### ●第2回目

と き 平成23年1月13日（木）午前10時～12時

ところ 集合-別海町郷土資料館・観察場所-風蓮湖

内 容 自然観察 「冬の王者 オジロワシ・オオワシを見よう」

#### ●対象者及び募集人員

小学生以上 先着10名 平成23年1月7日（金）から受付開始



町内外からたくさんの方々のご来館ありがとうございます。

## 来館者の感想 を紹介します。



郷土資料館



加賀家文書館

- ・ この土地で生まれ育った者ですが、野付半島の歴史は初めて知った部分も多く驚きました。歴史がないと思い込んでいたので、今日来て良かったです。勉強になりました。学芸員の勉強をしている者として展示（照明）の仕方が気になりました。博物館施設としてはとても立派で良かったです。なので、来館者が増えるよう（特に旅行者等へ）もっとアピールされても良いのではないのでしょうか。もったいなく感じました。
- ・ 何気なく寄ってみた資料館。内容がすばらしいのでびっくりしました。野付半島に行ってみましたが、過去の栄華を思うと何ともいえない気持ちになりました。大切な資料をありがとうございました。今後も存続させて下さい。
- ・ 図らずも当館を訪問し、多大な感銘を受けました。貴重な歴史遺産としての古文書を保存し後世に伝える町、町民の努力に敬意を表します。なお、折角の優れた施設ですので、広く全国に知られるよう工夫されることを切望します。

# 近世の別海を探る 「西別川河口から北」～その2～

## ヒラヲロ

文献資料の標記は、「ヒラヲロ」「ヒラエト」「ピラ エト<sup>°</sup>」があります。

### ○地名の由来

〔ヒラヲロ〕「(小川) 崩平に有、依て號く」

『東西蝦夷山川地理取調紀行 東蝦夷日誌』松浦武四郎 安政3年(1856)

## ヒラウトル

文献資料の標記は、「ヒラウトル」「ピラウトルナイ」「ピラ ウト<sup>°</sup>マ ペツ」があります。

### ○地名の由来

〔ピラ ウト<sup>°</sup>マ ペツ〕「兩崖ノ間ニ在ル川」『北海道蝦夷語地名解』永田方生 明治24年(1891)

### ○地勢や建物など

松前藩復領時代 文政4年(1821)～安政元年(1854)

・「小川有るよしニ見ゆる。」『初航蝦夷日誌』松浦武四郎 弘化2年(1850)

幕府再直轄時代 安政2年(1855)～慶応3年(1867)

・「(赤崩平に小流有)」『東西蝦夷山川地理取調紀行 東蝦夷日誌』松浦武四郎 安政3年(1856)

## ハラサン

文献資料の標記は、「ハラサン」「バラサン」「パラサン」があります。

### ○地名の由来

〔ハラサン〕「ハラサントウ 棚也。此棚(の如き台地へ納屋)を作りて、是えむかし物を上(入れ)しと。ヘツカイの土人むかし此ハラサンに有りしと」『午手控』松浦武四郎 安政5年(1858)

〔バラサン〕「此処平山にて棚のよふに見得るを名付よし 平の棚」

『丙寅慶応二年正月吉日 万覚帳 安政六未年 子モロ地名和解書』加賀伝蔵 安政6年(1859)

### ○地勢・建物など

前期松前藩時代 18世紀後半

・「此処平山木アリ砂濱行」『松前地并東蝦夷地明細記』高橋壮四郎他 寛政9年(1797)

幕府直轄時代 寛政11年(1799)～文政3年(1820)

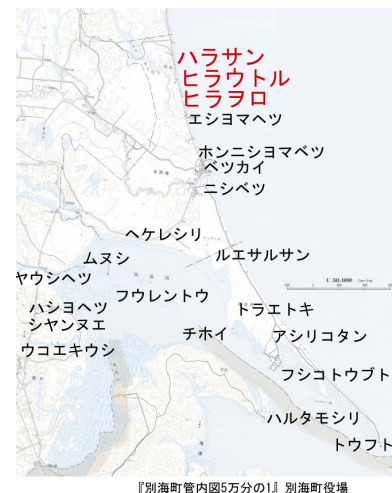
・「蝦夷人住居の地名」『東蝦夷地各場所様子大概書』松前藩 文化5年(1808)

松前藩復領時代 文政4年(1821)～安政元年(1854)

・「此辺り入口にし而波甚静なり。」『初航蝦夷日誌』松浦武四郎 弘化2年(1845)

幕府再直轄時代 安政2年(1855)～慶応3年(1867)

・「但小川有」『根室旧貫誌』喜多野省吾 安政5年(1858)



『別海町管内図5万分の1』別海町役場



現在の茨散海岸

別海町郷土資料館だより No.138

発行日 平成22年12月28日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

### 編集後記

個人でご来館いただく方とは、よっぽどでない限り、お話しをすることはありません。今回ご紹介したノートに少しでも感想などを記入いただくと、今後の運営に大きく役立てることが出来ます。たくさんのご意見を来年もお待ちしています。(K.I)